

ぐう数・き数の ぶどう算 ②

小5／〇と ●だけで 3だんを うめよう

なまえ _____

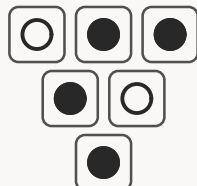
ひづけ _____

- ・ ぐう数(2で わりきれる 数)は 〇(ふちだけ)、き数(2で わると 1 あまる 数)は ●(ぬりつぶす)。この紙では、ぶどうの □に 数は 書かず、〇か ● だけを書き。計算は しない。
- ・ きまり表は、左の 2つを たすと 右の しるしに なる という きまり。たとえば 3行目の 〇+●=● は、ぐう数+き数の 答えは き数、ということ。()の 中は、数で たしかめた れい。
- ・ うめ方は、ぶどうの となりあう 2つを 見て、同じ ならびの 行(左の 2つの しるしが 同じ 組み合わせの 行)を 表から さがし、右の しるしを 2つの 間の 下の □に 書く。
- ・ おぼえ方は、表の きまりを みじかく した もの。となりあう 2つが 同じ(〇〇か ●●)なら 下は 〇、ちがう(〇●か ●〇)なら 下は ●。表を 見ても、おぼえ方を つかっても、どちらで 書いても よい。
- ・ ふとい わくの □が 書く ところ。①の (1)(2)は 2だん目の 左の 〇●が 先に 書いてある。②は 上の だんの 〇●だけが 書いてあり、下の だんは 全部 自分で 書く。
- ・ こまったら、れいの ように 1つずつ 声に 出して 表の 行を さがそう。

きまり表

- 1 〇 + 〇 = 〇 ぐう数+ぐう数=ぐう数 (2+4=6)
- 2 ● + ● = 〇 き数+き数=ぐう数 (3+5=8)
- 3 〇 + ● = ● ぐう数+き数=き数 (2+3=5)
- 4 ● + 〇 = ● き数+ぐう数=き数 (3+2=5)

れい このように 1つずつ うめる



2だん目の 左: 〇と ●は ちがう → ●(3行目)
2だん目の 右: ●と ●は 同じ → 〇(2行目)
一番 下: ●と 〇は ちがう → ●(4行目)

① 3だんの ぶどうを 〇と ●で うめよう ※(1)(2)は 2だん目の 左が 書いてある

(1)

(2)

(3)

(4)

② 全部 自分で 〇と ●で うめよう

(5)

(6)

(7)



ぐう数・き数の ぶどう算 ②【こたえ】

小5／〇と ●だけで 3だんを うめよう

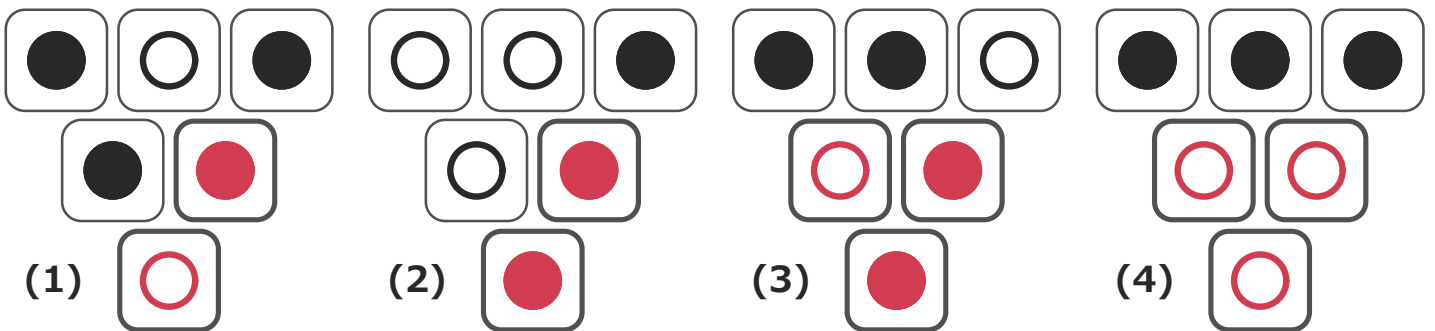
なまえ _____

ひづけ _____

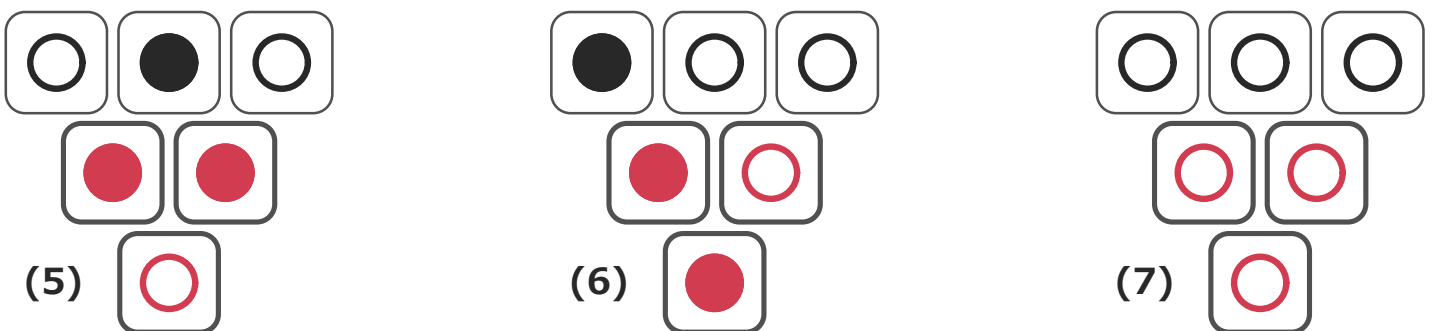
こたえ(赤い ところが こたえ)

- ・ となりあう 2つが 同じなら 〇、ちがえば ●。きまり表では
 $\text{〇} + \text{〇} = \text{〇}$ (1行目)、 $\text{●} + \text{●} = \text{〇}$ (2行目)、 $\text{〇} + \text{●} = \text{●}$ (3行目)、 $\text{●} + \text{〇} = \text{●}$ (4行目)。下は 問題ごとの つかった きまり。
- ・ (1) $\text{〇} + \text{●} = \text{●}$ (3行目)、 $\text{●} + \text{●} = \text{〇}$ (2行目)
- ・ (2) $\text{〇} + \text{●} = \text{●}$ (3行目)、 $\text{〇} + \text{●} = \text{●}$ (3行目)
- ・ (3) $\text{●} + \text{●} = \text{〇}$ (2行目)、 $\text{●} + \text{〇} = \text{●}$ (4行目)、 $\text{〇} + \text{●} = \text{●}$ (3行目)
- ・ (4) $\text{●} + \text{●} = \text{〇}$ (2行目)、 $\text{●} + \text{●} = \text{〇}$ (2行目)、 $\text{〇} + \text{〇} = \text{〇}$ (1行目)
- ・ (5) $\text{〇} + \text{●} = \text{●}$ (3行目)、 $\text{●} + \text{〇} = \text{●}$ (4行目)、 $\text{●} + \text{●} = \text{〇}$ (2行目)
- ・ (6) $\text{●} + \text{〇} = \text{●}$ (4行目)、 $\text{〇} + \text{〇} = \text{〇}$ (1行目)、 $\text{●} + \text{〇} = \text{●}$ (4行目)
- ・ (7) $\text{〇} + \text{〇} = \text{〇}$ (1行目)、 $\text{〇} + \text{〇} = \text{〇}$ (1行目)、 $\text{〇} + \text{〇} = \text{〇}$ (1行目)

① 3だんの ぶどうを 〇と ●で うめよう ※(1)(2)は 2だん目の 左が 書いてある



② 全部 自分で 〇と ●で うめよう



おうちの方へ

つまずきの 中心は $\text{●} + \text{●}$ を ● と 書いてしまうこと。『き数+き数は ぐう数』と 声に 出して 言わせてください。理由は『き数は 2つずつ 組に すると 1こ あまる。あまりの 1こ と 1こを 合わせると 2こで 組に なるから ぐう数』。

(1)(2)は 2だん目の 左が 先に 書いてあり、(3)からは 全部 自分で 書きます。(4)は ●が 3つ ならぶ ぶどう、(7)は 〇だけの ぶどうです。

ぐう数・き数は 学校では 偶数・奇数と 書きます。まちがえた ときは、上の「つかった きまり」の 行を 表で たしかめて もう一度 書かせてください。